

第 1 回地区庶務担当理事連絡協議会

と き 平成22年4月24日（土）

△安達副会長挨拶

冒頭、日医会長選挙について触れ、先ず会員各位の支持・支援に対し謝意を示した後、「残念な結果ではあったが、日医の改革、日医のあるべき姿について誠実に訴えてきた結果、356名中118名という票を獲得できたことは、大変大きな財産となった。今後は、日医執行部の運営方針を注視しつつ、我々の考え方が風化しないよう、全国の皆様と広く協議・懇談を重ね、日医の改革に向けて、今後も活動を継続したい」との意欲を示すとともに、協力と求めた。

△報告ならびに協議事項

1. 庶務関係連絡事項について（城守理事）

「地区医師会長への連絡・依頼事項」を各地区に配付。特に新規の医療機関開設時において医療機関名称、診療科名（広告規制）等について不適切であると思われる事例があれば、事前に府医総務課へご相談いただくよう依頼した。また、府医事務局休務時（ゴールデンウィーク・年末年始）における会員ご逝去の際の弔辞、供花等の手配について協力を依頼した。

地区から、医療機関の名称について問題となった事例が挙げられ、府医の対応について質問が出された。安達府医副会長から「地区で問題があると思われるケースについては事前に府医へご相談いただき、地区と連携を取り、慎重に対応したい」との意向を示した。

2. 地区医師会との懇談会及び保険医療懇談会について（城守理事）

今年度も地区医師会との懇談会及び保険医療懇談会を例年通り開催することを報告し、協力及び積極的な参加を依頼した。また、連休明けに各地区の開催希望日を確認し、開催日程調整を実施することを報告した。また、今年は府医の新会館への移転を10月頃に予定しており、例年その時期に開催日が集中することから、ご配慮いただくよう依頼した。

3. 地区役員の改選に伴う府医代議員・予備代議員の補欠選挙について（城守理事）

地区役員改選に伴い府医代議員・予備代議員を変更される場合は、補欠選挙が必要となるため、「辞任届の必要枚数」「送付先」「選挙事務所ならびに投票所」等を、FAXにて、5月7日（金）までに府医総務課へ送付いただくよう依頼した。

4. 最近の中央情勢について（坂東理事）

3月上旬～4月中旬にかけての社会・医療保険状況について説明した。

5. 予防接種による事故の防止について（藤田理事）

京都府内の市町村において発生したBCGワクチンの集団接種時における事故発生事例について報告し、注意を喚起した。今回の事故は4月20日に発生したが、府医が把握したのが4月22日であったので、地区からの迅速な情報提供を依頼した。

6. 新型インフルエンザの対策や対応に関するご意見について（藤田理事）

府医として今後の新型インフルエンザ対策の参考とするため、今回の新型インフルエンザ対策や対応について各地区の意見や要望を、5月8日（土）までに回報いただくよう、地区感染症担当理事へMLにて依頼したことを報告し、地区での取りまとめを依頼した。

7. 医療機関における新型インフルエンザワクチン在庫の取扱いについて（藤田理事）

日医感染症危機管理対策室長から送付された「医療機関における新型インフルエンザワクチン在庫の取扱いについて」（平成22年4月21日付）を説明、「日医としては返品が可能となるよう政府に要望はしているが、現時点においては実現に至っていない」と報告するとともに、今後の日医の動向に期待したいとした。

8. 肺炎球菌ワクチン（成人用・小児用）について（藤田理事）

平成22年2月から小児への接種が可能となった肺炎球菌ワクチン接種について、一般の方から匿名で事務局へ、「誤って小児に成人用ワクチンが接種された」との訴えがあったことを報告し、「本来なら匿名の事案は取り上げないが、起こりうる事例である」として、会員への周知と注意喚起を依頼した。

9. 平成22年度京都府医師会会員福祉事業の予定について（柏井理事）

平成22年度の府医会員福祉事業の予定を紹介するとともに、奮ってご参加いただくよう地区での周知を依頼した。また、参加人数の減少に伴い平成22年度から府医主催としてのシニアゴルフ大会と地区対抗ボウリング大会は廃止することを報告した。

10. 学術講演会の今後の予定について（小野理事）

5月に予定している京都府医師会学術講演会を紹介し多数の参加を呼びかけた。

11. 日本脳炎ワクチンについて（藤田理事）

日本脳炎ワクチンは全て新ワクチンに切り替わったが、引き続き接種したワクチンの本数を行政に報告する事になっていること、2期については医学的に新ワクチンを接種できると思うが、通達で新ワクチン使用は認められていないことを報告し、周知を依頼した。（詳細は京都医報に掲載予定）。